

第28回日本緑内障学会

モーニングセミナー4

日時▶2017年10月1日(日) 8:00~8:50

会場▶第1会場(リーガロイヤルホテル広島4F ロイヤル①②③)

マイクロペリメータを用いた 新たな緑内障診断

座長のことば

近年の眼底画像検査機器の進歩については異論のないところと思います。マイクロペリメータは臨床使用されて既に10年以上の時間が経過していますが、機器の進歩により眼科研究や臨床活用について新たな報告がなされています。今回のモーニングセミナーではマイクロペリメトリー機能をテーマに、さまざまな症例を用いて有用性の検証や評価について経験豊富なお二人の先生にご報告していただく予定です。まず、吉田 武史先生(東京医科歯科大学)には、強度近視患者に対するマイクロペリメトリー機能を用いた緑内障診療について有用性を症例ベースでご報告いただきます。続いて、北 善幸先生(杏林大学)には、近年話題となっているMultimodal imagingを用いて、緑内障の機能と形態診断についてご報告いただきます。早朝から非常にためになるお話が聴けるものとたのしみをしています。多くの先生方のご来場をお待ちしています。

座長



Makoto Aihara

相原 一先生

東京大学大学院
医学系研究科外科学専攻眼科学 教授

強度近視眼における MP-3の有用性

緑内障診断に役立つ Multimodal imaging

演者



Takeshi Yoshida

吉田 武史先生

東京医科歯科大学眼科学教室 講師

演者



Yoshiyuki Kita

北 善幸先生

杏林大学医学部眼科学教室 講師